

資源循環型

環境シリーズ〈社会編〉

ゼロエミッション概念図



持続可能な社会をめざす

循環型社会の構築

ナビゲーター：岡部まり



上映時間 25分

ビデオ版 78,000円

価格は税抜 [C#3095]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu/>

かつての環境問題では、環境を破壊する企業や団体の責任が問われてきました。例えば、大気・水質を汚染する企業や、騒音・振動を発生する道路・鉄道などです。しかし、現代の環境問題では、私たち生活者自身が被害者であると同時に加害者でもあります。私たちの生活がゴミを増やし続け、二酸化炭素を増加させ、地球環境に甚大な負荷を負わせているのです。このままの社会システムを継続すれば、近い将来「成長の限界」を迎え人類にとってかけがえのない地球環境を維持できなくなるおそれがあります。

限りある地球環境を守り、未来に残していくためには、私たち一人一人が自分の生活を見つめ直し新たなライフスタイルを作りあげていくことが必要です。この作品では、循環型社会の構築をめざして活動をしている自治体、企業、民間団体などの活動を取材し、取り組みを続けている人々の生の声を通して私たちが目指す「持続可能な社会」のあるべき姿を考えていきます。

内 容

■ライフスタイルの変換が必要

今日、現代社会における大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済システムは様々な場面で自然環境に対し負荷をかけ、公害や自然破壊など深刻な地球環境問題が起こっている。このままでは近い将来「成長の限界」を迎え、社会を維持することができなくなる。持続可能な社会を実現するためには新しいライフスタイル、すなわち循環型社会を構築しなければならない。

■3Rとは

循環型社会の形成には、リデュース・リユース・リサイクルの3つのRが重要である。平成12年5月に制定された「循環型社会形成推進基本法」では、リデュース、リユース、マテリアル・リサイクル、サーマル・リサイクル、適正処分という優先順位が定められている。

■長井市・レインボープラン

循環型社会の構築をめざす各地の取組事例を紹介する。山形県長井市では「レインボープラン」と呼ぶ「地産地消」の活動を行っている。レインボープラン推進協議会の菅野さんに聞く。『町からでた生ゴミを回収し、コンポストセンターで堆肥化します。その堆肥で周辺の農家が野菜や米を作りそれを町で販売します。町と村が一緒だという田舎の特性を活かして、一級の食、食べ物を食べられる町、安らぎ多い町、循環する社会、そういうものを創っていこうと、そういうプランですね』

■早稲田大学周辺商店会・いのちのまちづくり

早稲田大学周辺地区では、リサイクルを核としたまちづくりなど、ユニークな活動をととして地域の活性化に取り組んでいる。早稲田商店会の安井会長に聞く。『なんと集まったゴミの9割が再資源化できるんですよ。捨てるものはたった1割だったんですね。ですから、“捨てればゴミ、活かせば資源”言葉は知っていたんです。でもこの生かすというものが排出時の徹底分別だということ。これを我々はこのイベントを通じて学習したということです』

■キンビール株式会社・ゼロエミッション

キンビール株式会社は国内にある11の工場ゼロエ

ミッションを達成している。ゼロエミッションとは、製品を製造する時に発生する全ての廃棄物を資源として再利用することによって循環させ、ゴミの発生をゼロにすること。神戸工場の薄井部長に聞く。『この工場は再資源化100%、全てのものを再資源として使うようにすることで、それを達成しておりまして、さらに維持を続けています』

■北九州市・エコタウン

国は、ゼロエミッション構想を推進するために“エコタウン事業”に取り組んでいる。北九州市は平成9年7月に、全国に先駆けてエコタウンとして認定された。北九州市環境局の垣迫環境産業政策室長に聞く。『大きく2つの柱がありまして、ひとつは、総合環境コンビナートと言いますが、実際のリサイクル事業が集積をすることで、もうひとつは、実証研究エリアという場所になります』

■21世紀のライフスタイル

持続可能な循環型の社会を実現するためには、企業や自治体の努力だけでなく、私たち一人一人の意識の改革が必要である。平成14年の“循環型社会白書”の中で、リデュース・リユース・リサイクルを推進する“リ・スタイル”がうたわれている。21世紀のライフスタイルは、これに尽きるのではないだろうか。

プロデューサー・・・中鉢 裕幸 脚本・監督・・・西田 洋介

監修・・・早稲田大学政治経済学部教授 法学博士
寄本 勝美

制作協力・・・株式会社リョーイン

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2003年作品

P

資源循環型 環境シリーズ3作品

- 〈社会編〉持続可能な社会をめざす 循環型社会の構築
- 〈学校編〉ほくらのごみゼロ大作戦 リデュース・リユース・リサイクル
- 〈家庭編〉家庭の中の3R Re-Styleで創る循環型社会

関東営業所 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業所 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730-0042 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101